

桐鈴凜々

4年ぶりの多門青年団表敬訪問

ケアハウス鈴懸職員 石田洋一郎

第154号

2024年3月10日発行

発行責任者

社会福祉法人 桐鈴会

理事長 黒岩秩子

南魚沼市浦佐5142-1

電話 025-780-4118

FAX 025-777-3731

e-mail info@toureikai.com

<http://www.toureikai.com/>

桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す

・「迷惑をかけ合える関係」を目指す

・高齢者、しょうがいしゃ、子どもたちが

安心して住める地域を創ろう



2月10日、裸押し合い大祭の多門青年団が4年ぶりに表敬訪問をしてくれました。

「サンヨ、サンヨ」の威勢の良い掛け声とともに半タコ・さらし姿の若者が鈴懸の玄関に現れました。鈴懸と桐の花の入居者は大よろこび。(でも一番喜んだのは女性職員かも?)

2月10日、裸押し合い大祭の多門青年団が4年ぶりに表敬訪問をしてくれました。「サンヨ、サンヨ」の威勢の良い掛け声とともに半タコ・さらし姿の若者が鈴懸の玄関に現れました。鈴懸と桐の花の入居者は大よろこび。(でも一番喜んだのは女性職員かも?)

3月2日(土)の本番は、何年ぶりかの大がかりな押し合い祭り、浦佐の街は大賑わいでした。

豆まきで厄払い

グループホーム桐の花

小岩幸子

今年の桐の花の豆まきは、入居者さんが年を重ねているせい、鬼に驚いて、豆を投げるのに躊躇される方がいらつしゃいました。そんな様子を見て、鬼役の方が入居者さんに豆を優しく投げて挑発してくれました。そのおかげで、最後は皆さん笑顔で「鬼は外！福は内！」と無事に豆まきを終えることができました。そんな機転を利かせてくれた鬼さんありがとうございました。



また今度、ゆっくり遊びに来てください。お待ちしています。地域の方々もお茶のみに来てくだ

ケアハウス鈴懸の様子



工房とんとん

佐藤清子

2月3日(土)に西の山?東の山?から工房とんとんへ鬼さんにお越しいただきました。

たくさんの豆!ならぬ紙だまを使って、みんなで退治しました。

他にも、大きな鬼のパネルに向かって、まるで大谷翔平選手のようなフォームで紙だまを投げる利用者さんもいました。笑

豆まきの後は、皆さんにお菓子のプレゼント付でした。

お菓子は職員と利用者さんが一緒に買い出しに行き、チョイスしてもらい、素敵な詰め合わせが完成しました。皆さんとても喜んでいました。

鬼さんは、次の用事で帰られましたが、来年はどんな鬼さんがいらつしゃるのか、とても楽しみです。ありがとうございます。

利用者さんからもコメント頂きましたのでご紹介します。

生活介護

- ・こわかった(野澤 優)
- ・オニやだよ(小倉綾子)
- ・めっちゃ激しかった。

(富所加代子)



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

2Fセブンイレブン前にて



工房とんとんのパン

毎週水曜日 13:30~
発売中!



・ビクツとした。(水落幸子)
 ・笑っていた。(井上一人)

△就労B型▽

・楽しかった。(須田恵美)
 ・楽しかった。またやりたい。(佐藤涼子)

(佐藤涼子)

・鬼が疲れていてかわいそうだった。(中島愛留)

・お菓子を拾いたかった。

(杉山かおる)

・鬼は外しました。また来年やります。(坂西美穂)

・鬼の人に豆を当てられて、楽しい豆まきの気分になりました。皆に春と福が訪れてほしいです。(大平あけみ)



各施設イベント開催報告!

△餅つき会▽

グループホーム桐の花

管理者 小川明子

昨年12月16日、夢草堂にて桐の花恒例の餅つき会が開催されました。いつも職員は全員参加、運営推進委員さん、入居者のご家族さんにも声をかけます。

今年に入居者9名を含め総勢29名で行いました。この中には鈴懸入居者さん5名も居ます。

杵を振り下ろし、お餅を返し、大きな楽しい掛け声で会を盛り上げてくださいました。職員は入居者さんの傍らで関わることができ、みんな楽しんでくれました。ありがとうございました。お手伝い感謝です。

つきあがったお餅はあんこ、きなこ、豚汁で食べました。

桐の花の入居者さんは平均年齢90歳。今年はいつもお粥を食している4名はお餅を諦め、代わりに求肥を用意しました。見た目はまるでお餅! 多分お餅だと思いがら食べてくれたのではないでしょう。みんなお餅はごちそうのようです。

桐の花では、この餅つき会、三日、浦佐押し合い祭りの時に青年団から届く福餅:と少なくとも3回はお餅を食べます。高齢者施設でお餅を食べるといって驚かれることもあります。確かに高齢者がお餅を喉につかえることは世の中の心配事です。もちろん私たちも怖いのです。それでも恒例として強くて、当たり前のように出します。もちろん、「〇〇さんはこの大きさでね」とか「△△さんからは目を離さないでね」とその時々入居者さんの状況に合わせて注意を払いま

す。小さな施設だから目が届くのだと思います。また、今年もやりますよ!



△久々の杵と臼で！▽ ケアハウス鈴懸

上村裕樹

2月13日昼食時、鈴懸にて餅つきを開催しました。理事長たつての希望で、久々に杵と臼を使い、入居者さんから手伝っていたいただきました。私個人、杵と臼での餅つきは初めてでしたが、周りの大先輩方々の熱意のこもった指導のおかげもあり、上手に餅をつけていたかなと思います。

後半は、臼の破損もあり断念しましたが、皆さん楽しめたのではないかなと思います。最後に、協力して下さいました皆さんありがとうございます。



入居者紹介

ケアハウス鈴懸

210号室 今井家徳様



今年2月から鈴懸に入居しました今井です。鈴懸に入居して感じたのが、

スーパーやコンビニそしてホームセンターがあり、また、病院・公民館学校などの公共施設も近くにあること。そして何より心の癒しが出来るような八色の森公園があるので、健康で長く生活出来そうです。よろしくお願ひします。

ケアハウス鈴懸

410号室 関一江様



昨年の11月に入居させてもらいました関一江と言います。部屋からの景色が最高です。

これからは元気で楽しく過ごしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

△久しぶりの初釜▽

ケアハウス鈴懸

管理者 石田洋一郎

2月14日、抹茶会のボランテイアさんによる3年ぶりの初釜が行われ、鈴懸入居者をはじめ、とんとん利用者、桐の花入居者の人達から大勢参加していただきました。

初釜ということでお点前を披露して正客・次客を立てて行いました。参加者も神妙な面持ちで見守っていました。

その後、抹茶と花びら餅が参加



者に振舞われました。

抹茶会は4月から11月まで毎月

第2火曜日にケアハウス鈴懸で午後3時より行っております。



発達障がい日記

小林あゆみ

事柄は、てんで駄目だ。

私は、自動車の免許が取りたい。取りたいのだけど自動車学校というものが、未知で恐ろしく感じる。

自分は、新しい事への挑戦自体は結構好きだし、興味のあるものへの勉強は楽しく感じるタイプのはずなのに、運転免許が欲しいと思っ、かれこれ5年くらい経過してしまった。何故だろうか。

勉強と挑戦大好きなはずの私が、運転免許に関してだけ二の足を踏んでる件を今回は言語化してみる。

結果

端的に言えば、運転免許は二次的な目的で欲しいからだ。

車自体が好きで、自分で操作したい！という話なら運転免許取得は、一次的目的と言える。

車そのものへの興味は別になくて、移動手段として行動の幅を広げたいだけの私の場合、免許取得は二次的な目的だ。

自分は、興味のあるものなら自分で調べて、怖いもの知らずで何事も挑めるのだけど、興味が無い

車に関しては、兄がドリフトの練習するとき助手席に座らされて怖い思いをしたのも、苦手意識に拍車を掛けている。ついでに、マフラー外したエンジン音は、人が怒鳴っているように聞こえる(聴覚過敏かも知れない)から嫌いだ。

書いていて兄のせいやんけ！という気もするが、それ以外にも運転による事故も怖い。車検も金銭的に怖い。

一度心配が始まると次々に新たな心配が生まれてしまう。これはきつと自分の特性が持つ慎重さに違くない(単に自分の世界が狭いとも言ふ)。でもきつと運転出来れば新しい世界が待っているというジレンマ。

ちなみに発達障がい者に特化した運転免許取得コースがある自動車学校が栃木県を筆頭に東京などに加盟店があるのだが、新潟県内にそれを取り入れた自動車学校は無いようだ。



総括すると、車で怖い経験をした事と、運転技術取得にある程度の学習意欲を維持できるか不安なのだ私は。

興味がある事なら過集中できるのにね！それらの不安をやたらと難しく考え過ぎて、行動する前からくたびれている私なのでした。



謝罪、訂正

152号に掲載されました「障がい日記」の内容が141号に掲載された内容をそのまま掲載してしまいました。

ここに、小林あゆみさんへ謝罪申し上げます。申し訳ございませんでした。

桐鈴会からのお知らせ

△後援会年会費▽
法人：一口 一万円
個人：一口 二千元
連絡先…ケアハウス鈴懸
〒949-17302
新潟県南魚沼市
浦佐5142-1
☎025-780-4118

後援会入会案内

日頃より社会福祉法人「桐鈴会」をご支援いただき誠にありがとうございます。

是非とも皆様からのご理解・ご協力を賜り、今後も地域に根付いた社会福祉法人として頑張っていきたいと思ひます。(後援会費は主に建物修繕・入居者、利用者の福祉用品等に充てられます。)

入会できる方は是非ご連絡ください。(途中での退会もできます。)

桐鈴会

桐の花職員募集中!

お手伝い頂ける方を募集しております。

詳しくはコチラまで

お気軽にご連絡ください。

社会福祉法人 桐鈴会

☎025-780-4118

赤松良子さん追悼

理事長 黒岩秩子

2月7日の新聞に、元文部大臣赤松良子さんの訃報が伝えられました。

彼女の業績については色々書かれています。ここでは私と赤松さんの関係について書きますね。

2001年の3月に私は繰り上げ当選で参議院議員になりました。そして、7月の参議院選挙に東京選挙区から出る事になり、赤松さんが代表を務めている女性議員を増やす「WINWIN」(1999年に設立)に応援を依頼した



のが事の始まりです。依頼者を面接して、応援できる人とできない人を見分けます。

私が面接を受けたのは、4月のある日、8人の人が一緒に、私は、8人目だったのでした。午前から始まった面接の最後4時から5時が私の時間でした。のちに赤松さんがおっしゃっていたのは、「疲れたねえ、最後は1時間ではなく30分で切り上げよう」と話し合っていたというのです。ところが、私が話すことが皆さんにはとても面白くて、眠気が吹っ飛んだのだそうです。男女の双子を生むと決めたから、ちゃんと生まれてきて、男女同じに育てる実験をした。それで女性ばかりの面接官たちは、興味津々で次々に質問が出てきたのでした。

それで、もちろん推薦していただけることになって、7月の猛暑の中、赤松さんを始め樋口恵子さん、堂本暁子さん、三木睦子さんなどの方々が街頭演説に応援に来てくださったのでした。そして、カンパは、私が一番たくさんいただいたのでしまい、落選してから、

WINWINの事務所にお礼に行きました。そして、感謝を込めて何でもさせてくださいと言ったら「運営委員になって会員を増やしてください」と言われ、それ以来、運営委員として、月に一回の会議に参加させていただいて、会員を増やす努力もしてきました。

訪ねてこられたのでした。*岩田喜美枝さんが「カバン持ちとして」一緒に来てくださったのです。以来お二人には、桐鈴凛々をお送りしてました。この時、お二人に浦佐駅前「働く婦人の家」で講演をしていただき、50人ぐらいの方に聞いていただくことができました。

「この人は7人のこぶたを育ててきたのよ。私なんか一人だというのに満足に育てられなくてね」

この1月16日にドキュメンタリー「べあての贈りもの」制作関係者の集いが国際文化会館で開かれ、8人が集まりました。

赤松さんは労働省の職員として、大変な仕事を抱える中での子育てでしたから、それはそれは大変でした。一人息子さんをいろいろな

赤松さんはお元気で、いつものようにウィットにとんだご挨拶をされ、「100歳まで生きる」と言ったらっしゃったのです。

方の手を借りて育ててこられて、国連の職員になってニューヨークに勤務される時、成人になられた息子さんも一緒にニューヨークに行き、彼はそのまましばらくニューヨークに住んでいました。

まさか、こんなに早くお別れになってしまおうとは、誰も想像できませんでした。

50歳になったときに彼は日本に帰ってきて、赤松さんと二人暮らしが始まりました。(その後、息子さんはなくなってしまう、赤松さんは独り暮らしでした。)

その時、赤松さんは私にこう言ってらしたのです。「凛々を読ませていただいているから、あなたの活躍はみんなわかりますよ」と。「カバン持ち」と言いながらついてきてくださった岩田喜美枝さんは、それからずうっと凛々を一字一句のがさずに見ていてくださっ

ころ探しの一環として、桐鈴会を

たそうで、この度の3000万円の寄付の申し出でとなったのでした。これも赤松さんを通じたご縁だったのです。

息子さんがいらしたところ、赤松さんの家を訪ねたことがありました。帰りには、麻布十番の地下鉄の駅まで送ってくださって、ずうっと手を振ってくださっていたのが、印象的でした。

※赤松良子さんの「カバン持ちとして」来られた岩田喜美枝(元資生堂副社長)さんより、多額のご寄付を頂いた話です。

去年の10月のことです。寄付の申し出がありました。

大変嬉しいことで、職員一同

びっくりし、かつ大喜びしました。

何に使うのか、いろいろなアイデアがあつて、一つ一つ吟味して、まだきちんと決まりません。

2月に入ってから、「岩田喜美枝みらい基金」として、積み立てることにしました。

岩田さんは厚労省の雇用均等・児童家庭局長を退職してご自分で資生堂に転職されたのです。

その時の退職金も寄付されて、「べあての贈りもの」製作が可能になったのです。

この度、「なぜ桐鈴会に？」と伺ったところ、「後継者がいるから」とのことでした。

鈴懸俳句教室「初春」の特選句

雪晴れの蒼穹を切る飛行雲
通学の近道となる凍み渡り

井上信吉

柚子湯浴び残り香纏いつつ眠る
寒明け間近にせまる空の色

山岸トヨ

群青の空へと鶴の翔び立てり
雪帽子まだらに脱ぎて杉木立

関 勝美

ケアハウス鈴懸 入居者募集中

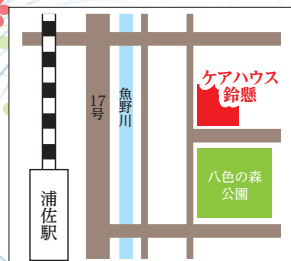
この度、ケアハウス鈴懸におきまして2部屋の空きが出来ましたので急遽入居者を募集したいと思います。

入居条件

- ・60歳以上で健康な人
- ・他の入居者ともうまくお付き合い出来る人

(面談をさせていただきます)

収入等の要件もありますが、面接の段階でご相談ください。お待ちしております。



<お問い合わせ>

ケアハウス鈴懸

南魚沼市浦佐 5142-1

TEL 025-780-4118

担当：石田



この地で一緒に

暮らしてみませんか！

四季折々の八色の森公園を眺めながら、のんびり過ごせます。
食事の提供もありますので、ゆったり気分を満喫してください！

バレンタインギフト 販売のご報告

今年も各施設よりご購入頂きました。

ありがとうございました。

製作・販売・配達に活躍してくれました
利用者の声を一部抜粋してお届けします！

1月30日～制作作業

2月7～9日 配達・納品(市役所、各施設・学校ほか)

2月10・11日 あぐりぱーくイベント出品

<ラッピング作業 加藤百恵 様>

楽しかった、ぜんぜん難しくなかった。

ホワイトデーではサブレの作業をしたいかな。

<袋詰め、粉糖がけ作業 飯塚康介 様>

楽しかった、またやりたいです。次はチョコがけをしたいです。

<フィナンシェ仕込み・飾り作業 杉山かおる 様>

どちらも楽しかったです。

仕込みは難しくなかった、大丈夫だった。

<フィナンシェ飾り作業 坂西美穂 様>

難しくなかった、楽しかった、頑張りました。

次は抹茶チョコをかけたいです。

<ブラウニー仕込み・ラッピング作業 中島愛留 様>

チョコを溶かして混ぜて力がある作業だったけど

出来た時の達成感がうれしかった。

スペシャルオリンピックス祝賀会

グループホームひまわり

星野尚雅

昨年11月に、グループホームひまわりの利用者さんが2名、長野で行われたスペシャルオリンピックスに出場してきました。

少し遅れてはしまいましたが、コーチと一緒に出場した選手を招き、2月に祝賀会を開きました。

場所は、夢草堂をお借りしてお好み焼きや、焼きそば、唐揚げなどをご用意させてもらいました。

管理者が、選手達の試合風景を動画にしてくれ、感動したことをこの場で記させていただきます。熱い気持ちになりました。

また、実際に行った競技(フロアホッケー)を模したミニゲームをしたのですが、非常に難しかったです。選手達の日頃の練習の賜物なんだと、改めて実感しました。

来年も、祝賀会ができることを期待しています。その際は、また美味しい料理を作りますね。
おめでとーございませう。



編集後記

毎回毎回、様々な話題が紙面を埋めつくし、季節を感じさせるような楽しい思い出がたくさんありました。

どれも、何気ない日常の一コマにスポットがあたり、色鮮やかに輝いていたのではないのでしょうか！ 3年近く、編集に携わらせていただきましたが、今回をもって卒業させていただきます。

桐鈴凛々は、まだまだ元気に続いていきますので、引き続きご愛読ください。

よろしくお願ひ致します。

(工房とんとん

まきのけんじ)